



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 中 谷 佳 正
幹 事 浅 井 晃 会 報 委 員 長 宮 田 正 人

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2432

2019-9-13

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェイトンホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30



ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

2019-2020年度国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

本日の例会) 9月13日(第2例会)

- 卓話 「公証よもやま」
岩永建保会員

次週のお知らせ) 9月20日(第3例会)

- 大阪東南ロータリークラブとの合同例会
- 卓話 「ドローンの利活用と法的問題について」
ドローンが実用化段階を迎えようとしている。ドローンによる物流を支える技術と法制度への取り組み、そして「空飛ぶタクシー」への展望について。
小林正啓会員
- 食膳 <フランス 魚料理>

次々週のお知らせ) 9月27日(第4例会)

- 卓話 「私の趣味について」
田中浩之会員

先週の記事) 9月6日(第1例会)

- 出席報告
出席会員 33名 (内免除会員 9名)
会員総数 44名 (同上 15名)
ゲスト 1名
ビジター 0名
計 34名
ホームクラブ出席率 86.84%
8月23日(第4例会)補正出席率 100%(MU 3名)
- ゲスト&ビジター(敬称略)
木村芳樹 (卓話者)

◆ 会長の時間 ◆

ロータリーに関する情報を得る手段として「ロータリーの友」、「クラブ会報」、「ガバナー月信」の3つがあります。

- ①ロータリーの友
本日、ロータリーの友・地区代表委員の木村様に「多様性の中のロータリーの友」と題して卓話して

- 頂きます。
- ②クラブ会報
週報の役割として、まず情報の伝達、会員相互の親睦、そしてクラブ行事の記録、この3つがあり、これらのバランスが大切です。特に記録は間違いのないよう十分に精査し伝達することが重要です。
- ③ガバナー月信
ガバナー月信は、本来は地区を代表されるガバナーが各クラブの会長、幹事・役員に出す公式の文書ですが、当クラブでは、全会員にメールにて配信しております。月信は2660地区に関する最新の情報、ガバナーの方針や考えを皆さんに伝えるものです。非常に重要なものですので、月初にはガバナー月信のご紹介をさせて頂きたいと思っております。
以上、ロータリーの友、クラブ会報、ガバナー月信これらをうまく利用してロータリーへの知識を深めていきたいと思っております。

◆ 幹事報告 ◆

- ①今月のロータリーレートは、1\$ = ¥106です。
- ②本日11:30から例会に先立って開催されました理事会に於いて承認されました事柄の一部を報告致します。
・RAC補助金(1万円/人×44名=44万円)を全額RACの口座に移す件
以上が理事会承認されました。
- ③地区より、第1回フレッシュ・ロータリアン(FR)委員会議事録が届いております。石濱・田中・泉会員に回付致しております。次回のFR委員会は10月17日です。
- ④地区米山奨学委員会より、今年度の宝塚レクリエーションのご案内が届いております。山口米山奨学委員長・西谷・岡部(倫)カウンセラーに回付致しております。
- ⑤地区より、米山奨学生受入れクラブへの世話クラブ補助費送金のご案内が届いております。中谷会長、山口米山奨学委員長に回付致しております。
- ⑥地区より、8月に起きた長崎・佐賀の豪雨災害の義捐金のご案内が届いております。皆様ご寄付をお願い致します。

◆ 秋のRYLA セミナーのご案内 ◆

大阪南RC 木村芳樹氏
11/2~11/4に開催します。今回のRYLAセミナーは、「君よ志高き人となれ」をテーマに、人間関係の向上とチームワークの大切さを実感できるプログラムを実施します。サントリーの箕面トレーニングセンターで開催致します。是非皆様方の社員様、ご子息様

などお声掛け頂き、ご参加頂きますようよろしく
お願い致します。また開校式・閉講式にご参加頂
けるロータリーメンバーも募集しております。

◆ 委員会報告 ◆

写真の会 浅井 晃キャプテン

11/17に京都方面に紅葉を撮りに行くという企画
を考えておりますので、多くの参加をお願い致します。

卓 話

9月6日 <第1例会>

「多様性の中のロータリーの友」

2018-19年度 地区監事

ロータリーの友 地区代表委員
木村芳樹氏

ひとつのロータリーであるために。

「ロータリアンの三大義務」。会費
の納入、クラブ例会への出席、雑誌
の購読の3つです。この三大義務は

ロータリアンであり続けるために守り続ける義務を意
味します。

まず、「会費の納入」。会費を支払うだけでは、クラブ
の会員ですがロータリアンとは言えません。

2番目は、クラブ例会への出席。ロータリークラブ
は、地域に根差したリアルクラブ、そしてウェブ上で例
会を開催するEクラブ。そして衛星クラブ。今までロー
タリークラブは全世界共通でしたが、2019年の規定
審議会により、例会は最低月2回、メーキャップは年度
内、そして職業分類の制限撤廃となり、クラブの自主
性による多様性が認められました。この多様なクラブ
が存在する現在でも、クラブ例会への出席によりクラ
ブの情報を共有することは重要です。でもこれだけで
はクラブのロータリアンであって日本の世界のロータ
リアンではありません。

最後に、雑誌の購読です。日本では「ロータリーの
友」を購読することが義務ですが、「読まれないベスト
セラーズ」などと揶揄されています。「友」には日本の
、世界の共通の情報が掲載されています。「友」を読む
ことによって、世界のロータリアンと同じ情報を同時に
共有できます。「友」を読み続けることによって初めて
日本の、世界のロータリーの一員、ロータリーのロータ
リアンとなります。

ここで、「ロータリーの友」の内容を紹介。ロータリー
地域雑誌「友」には守らなければいけない規則があり
ます。7月号の表紙に新年度のRI会長の写真を掲載す
ること。『The Rotarian』の記事の中から、指定された
記事を転載する義務もあります。「友」誌では「RI指
定記事」と呼んでいます。「ロータリーの友」は、右開き
の表紙と左開きの表紙が1冊に存在し、左開きは横書
きで特別月間など、ロータリー情報の特集も掲載、右
開きは縦書きで日本の投稿文で構成。

ロータリー雑誌の歩み。1905年2月23日ロータリー
最初の会合。ポール37才。たった4人で始まったクラ
ブはラグルスをはじめ多くの会員が入会し、2年後の
1907年、ポールがシカゴクラブ会長になったとき、他
都市にも次々と新しいクラブができました。この拡大を
始めた1907年から10年をかけロータリー最初の危機。

シカゴクラブ内は、ポールたち奉仕派と、ラグルスたち
親睦派に分裂し、混乱。「奉仕か、親睦か」

1910年には16クラブになり、第1回ロータリークラ
ブ連合会大会が開催、初代会長はポール・ハリス。こ
の連合会設立は「奉仕か、親睦か」の混乱を鎮める意
味合いもありました。このシカゴ大会の終わった1910
年末にポールは一つのエッセイ「合理的ロータリアニ
ズム」を著しました。「ロータリーとは寛容である。親睦も
大切だが、奉仕も大切。奉仕も大切だが、親睦も大切。」

こうしてロータリーの情報を共有しようと1911年
1月25日にポール・ハリスのエッセイが掲載された機
関紙「ザ・ナショナルロータリアン」創刊。これが全世界
のロータリー雑誌の始まりで、ポール・ハリスのエッセ
イがこの雑誌を生んだといえます。

「ロータリーの友」の誕生。戦後1949年、日本のRC
はRI第60地区として復帰。1952年4月に大阪市中央
公会堂で第60地区最後の大会が開催。この地区大
会で、2地区になってからも連絡を緊密にするための
日本語による共通の機関紙の創刊が企画。「ロータ
リーの友」は1953年1月から月刊、横組みで創刊、自由
購読で定価50円。英文の『ザ・ロータリアン』を購読し
ていた会員が多く、多くの売れ残りが発生。その後、京
都で開かれた第60区・61区地区連合大会で完全購
読制が決議。1972年1月から縦組みと横組みに分け
た現在の形に。1980年7月にRI公式地域雑誌に指定。

ロータリー情報を共有するのは、ロータリアン一人
一人の義務であり資格です。ロータリーのロータリアン
であるために、今後も「友」を読み続けてください。

にこにこ箱

9月6日(第1例会)

- 木村様、本日の卓話よろしくお願
い致します。 中谷会長
- 木村芳樹様、本日の卓話よろしくお願
い致します。 宮田会員
- 娘の保護者会の行事で北海道に行っ
て、無事戻ってまいりました。 泉会員
- 奈良国際理事長杯決勝戦で、エイジ
シュート達成しました。 永井会員
- その他、早退お詫び 1件
お祝い 13件

(編集担当 泉・岩永)

会員増強にご協力を!!